

## ■ 「ICT地域活性化大賞2019」 奨励賞 受賞事例

### クラウドサービスを利用した山中漆器生産性向上プロジェクト 【一般社団法人山中漆器コンソーシアム】〈石川県加賀市〉

#### 1. 目的と概略

石川県加賀市の伝統的工芸品である山中漆器は、約450年の歴史を有する産地です。産地では、常にイノベーションに取り組み、現在では全国一の売上高を誇っています。そのような山中漆器産地においても様々な課題に直面しています。

山中漆器産地では、クラウドサービスを利用した工程管理システムを導入し、漆器産地特有の分業制（企画・成型・塗り・蒔絵）における各工程の進捗の見える化や、各工程間の受発注業務等のデジタル化により、事務作業の効率化や産地全体の生産性の向上を実現しています。

なお、本事業は総務省の平成29年度予算「地域ICT生産性向上支援事業」に採択されました。

#### 2. 先進的な優良事例紹介

##### 2.1 事業概要

本事業は、山中漆器産地の課題を地域全体での課題と捉え、北國銀行と日本ユニシスが取り纏め役になり、山中漆器連合協同組合・石川県・加賀市と連携し推進しました。

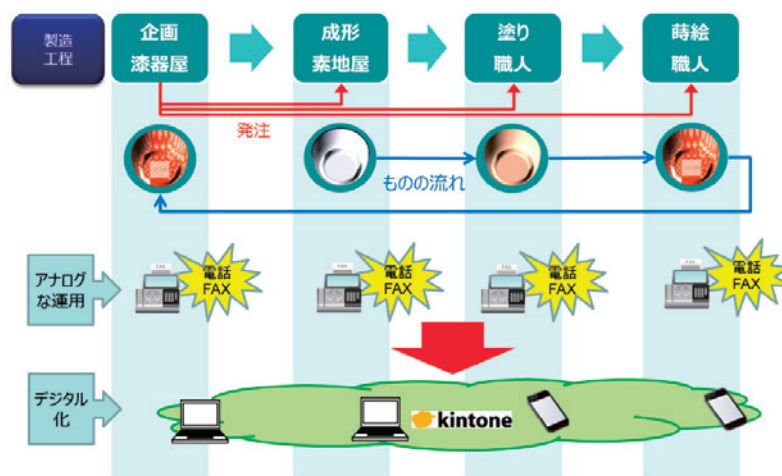
工程管理システムは、山中漆器産地の事業者（漆器屋、成型屋、塗師、蒔絵師）で構成される一般社団法人山中漆器コンソーシアムによって開発、運用されており、漆器屋、成型屋、塗師および蒔絵師間の「工程の見える化」と「受発注業務のデジタル化による支払・請求処理の効率化」による産地全体の生産性向上に取り組んでいます。

##### 2.2 コラム

###### 2.2.1 サービスイメージやシステム構成

###### ◆ 製造工程

山中漆器の製造工程は、ものが各職人の間を渡り最終的に製品になった段階で漆器屋に納品されるため、漆器屋は発注後の各工程の進捗が把握できていませんでした。また、受発注業務は電話／FAXなどによる非効率な運用が行われていました。これらの課題を工程管理システムの導入によるデジタル化で解決しました。

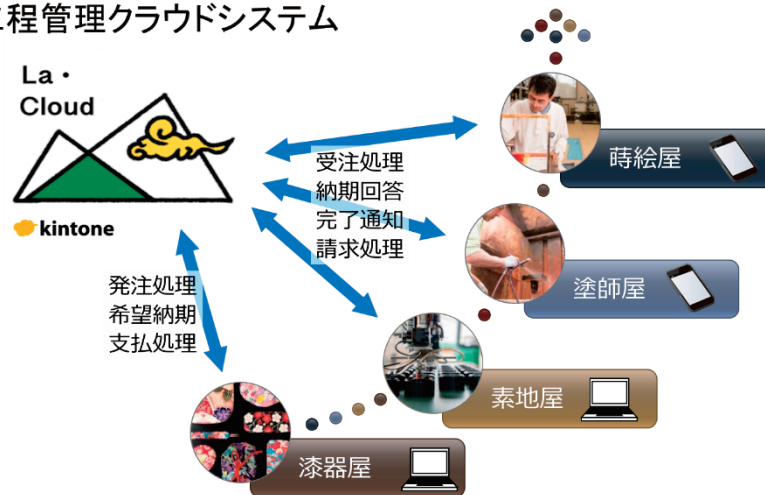


◆ 工程管理クラウドシステム

クラウドサービスを利用し作業工程の一元化を行っております。各職人はタブレットを使って、作業状況の入力・確認が可能となっております。

作業工程が一元化されたことにより、外出先でも進捗状況が確認できるなどのメリットがあります。

工程管理クラウドシステム



2. 2. 2 事業展開による効果・成果

以下数値は導入初期に取得したデータですが、10～30%程度の事務処理の効率化を達成しました。今後システムの利用に慣れてくる事で、更なる効率化が期待できます。

対象者	作業内容	実績値			削減時間
		削減割合	システム利用前 月平均作業時間	システム利用後 月平均作業時間	
漆器屋	支払事務	約 30%削減	30 時間	20 時間	10 時間
	発注事務	約30%削減	100時間	70時間	30時間
成型屋	請求事務	約10%削減	80時間	70時間	10時間
	受注事務	約10%削減	150時間	135時間	15時間
塗師	請求事務	約10%削減	3時間	2時間30分	0.5時間
蒔絵師	請求事務	約10%削減	3時間	2時間30分	0.5時間

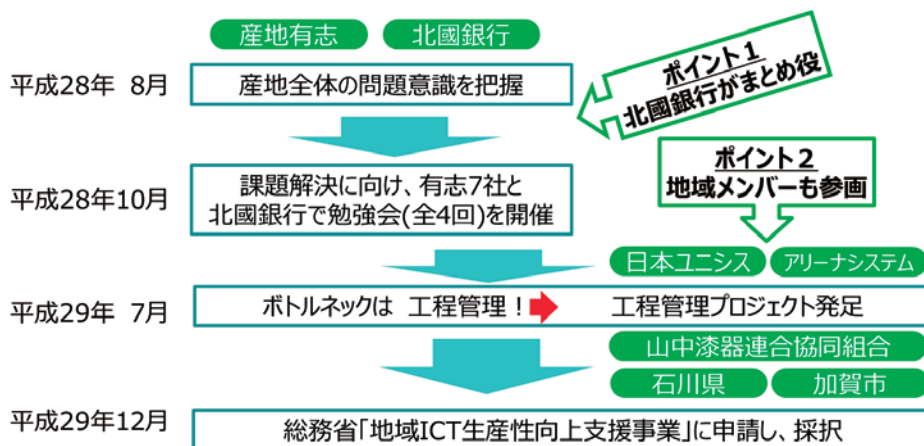
2. 2. 3 事業展開のポイント

◆ 独創性・先進性

地元の金融機関である北國銀行が取りまとめ役となり、産地内の有志を募り勉強会を開催し進めてきました。プロジェクトが進むに連れ、地域全体の課題として認識し、山中漆器連合共同組合や自治体(石川県/加賀市)も巻き込み進めています。このような取り組みは、地域一丸となっ

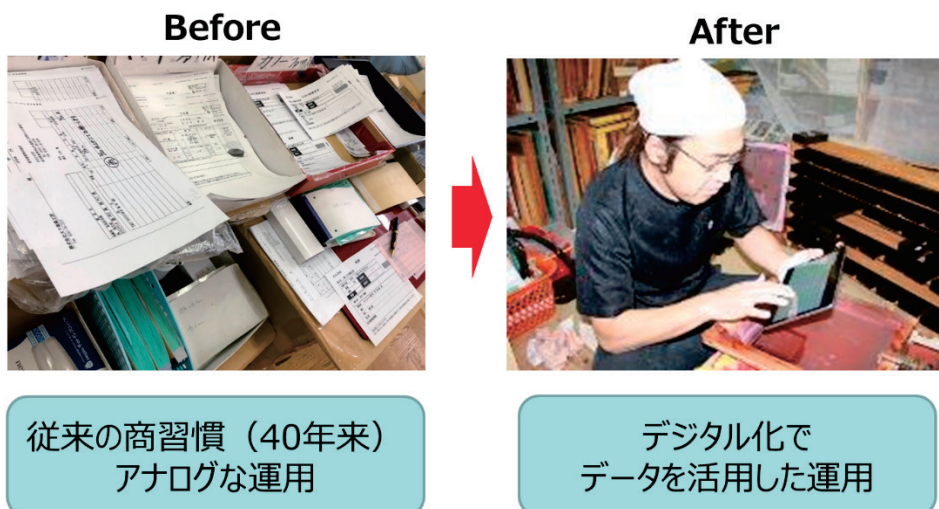
た地方創生の取組みになってきています。

システム導入においても、高齢者の職人はITに対する壁が少なからずあったため、まずITに抵抗感のないユーザから使っていただき、効果を見せながら利用者を増やしていきました。



コンソーシアム設立の経緯

- ◆ 継続性  
継続的に開催するユーザ会を通じて利用者の要望を把握し、機能の拡張などを検討しています。
- ◆ 横展開  
他の漆器産地でも利用可能であり、漆器産業と同様に分業制、アナログな事務処理による課題を抱えている業種にも需要があると考えています。
- ◆ 効果的なICT利活用  
タブレットの活用による簡単な操作や、システムの画面をなるべく分かり易くする等工夫を凝らし、高齢な職人でも利用しやすいシステムとしました。





◆ 住民との連携・協力

伝統産業の発展・地域企業の活性化という課題を持っている石川県・加賀市との連携により、地場の伝統工芸である山中漆器産業を盛り上げています。また、地域に根付いた金融機関である北國銀行が推進役となり、各企業のサポートのみにとどまらず地域全体を面でサポートし、地域活性化の推進を積極的に行っております。

◆ 波及効果

総務省からの情報発信等により本事業が各種メディアでも取上げられ、各方面からの視察や講演依頼など注目を集めたことで、新たな取り組みに対する意欲が産地全体に生まれました。

業務効率化により捻出された時間を使って、新たな商品開発や販路開拓等の検討が活発になってきています。

2. 3 サービス利用者の声

- ・ 請求処理が楽になった。(素地屋、塗師、蒔絵師)
- ・ 複数の漆器屋からの発注が一画面で全て確認できるので便利になった。(素地屋、塗師、蒔絵師)
- ・ 発注の認識齟齬がなくなり不良品の数が減った。(漆器屋)
- ・ 便利な仕組みなので周りの職人にも薦めている。(塗師、蒔絵師)
- ・ この仕組みを導入していない漆器屋にも早く参加をしてほしい。(素地屋、塗師、蒔絵師)

2. 4 今後の課題と展開

今回の取組みは工程管理の範囲にとどまっているので、各事業者の既存のシステムとの連携が課題の一つとなっています。今後、既存システムとの連携を進め、より高い生産性の向上に役立てるような仕組みに成長させていきたいと考えています。

今回の取組みは、山中漆器産地の発展の始まりであり、販路拡大、ブランディング、共同物流、海外展開等需要増に向けた事業を検討していく予定となっています。

2. 5 導入費・維持経費

- ・ 導入費：非公開
- ・ 運用費：1ライセンス月額1,000円程度

〔問い合わせ先〕

- ・ 団体 一般社団法人山中漆器コンソーシアム
- ・ 担当者名 代表理事 竹中俊介
- ・ 電話番号 / 0761-78-0305
- ・ e-mail : ylca@kaga-tv.com